

記入要領

大学の世界展開力強化事業 中間評価調査

令和3(2021)年度採択

「中間評価関係書類等の作成・提出について」に記載している整理番号・タイプ(事務局にて転載済)

大学名 (○が代表申請大学)	大学名 (事務局にて転載済)		整理番号		
主たる交流先の相手国	主たる交流先の相手国 (事務局にて転載済)		タイプ		
事業名	事業名【和文】 (事務局にて転載済)				
学長名	(事務局にて転載済)				
事業責任者	(氏名) ●● ●● (職名) 大学院●●● 研究科・教授 (交替年月日) 20XX年○月○日	事業責任者に交替があった場合のみ記入してください。			
取組学部・研究科等名	計画調書の【基本情報】取組学部・研究科等名からの転載 (事務局にて転載済)				
相手大学等名		日本語表記	英語表記	国名	備考
	①	計画調書の【基本情報】海外相手大学からの転載 (日本語は事務局にて転載済) ※英語表記を記載してください			
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	⑥	海外相手大学追加調書を提出している場合は、追加した相手大学名(国名)を、計画調書から転載した海外の相手大学名に続けて記入してください。(記入例を参照)			
	⑦				
	⑧				
	⑨		追加した相手大学名の記入例		
	⑩	○○○大学	University of ○○○	□□□	
	⑪	●●大学	●● University	◆◆◆	追加
	⑫				
	⑬				
	⑭				
⑮					
参考資料一覧	1	大学の世界展開力強化事業 事業結果報告書			
	2	大学の世界展開力強化事業 事業結果報告書		2022年度	
	3	●●学部 学生アンケート		2021年度	

事務担当者	(氏名) ○○ ○○	(職名) ○○○部△△課・課長
連絡先	(住所) 〒	事務担当者の氏名及び所属部局等の名称・職名を記入してください。
	(電話番号)	

※中間評価調書の内容等について連絡可能な事務担当者を記入してください(複数名の担当者がある場合でも代表者1名の氏名、職名を記入してください)。また、連絡先E-mailについては、複数して確認が可能なメールアドレスを記入してください。
全てのページに「代表大学名」及び「タイプ」を記入してください。

(代表大学名:) (タイプ:)

質の保証を伴った交流プログラムの目的と内容

① 交流プログラムの目的・概要等 (計画調書からの転載)

【交流プログラムの目的及び概要】

計画調書の【①交流プログラムの目的・概要等】からの転載
(事務局にて転載済)

【養成する人材像】

「【本事業で計画している交流学生数】」については、本調書内の以下の数値において齟齬がないよう注意して作成してください。

- [進捗状況の概要] の「【本事業における中間評価までの交流学生数の計画と実績】」
- [2. 目標の達成状況] の「⑦中間評価までの達成目標 (3) 学生に修得させる具体的能力のうち、一定の外国語力基準をクリアした日本人学生数の推移について」
- [2. 目標の達成状況] の「⑧本事業計画において海外に留学する日本人学生数の推移」
- [2. 目標の達成状況] の「⑨本事業計画において受け入れる外国人学生数の推移」
- [2. 目標の達成状況] の「⑩中間評価までの交流学生数」

「申請時の計画調書記載人数」と「海外相手大学追加調書分」の合計を記入してください。追加調書の提出がない場合は、「申請時の計画調書記載人数」を記入してください。

海外相手大学追加調書がない場合の記入例

海外相手大学追加調書の提出がある場合の記入例

【本事業で計画している交流学生数】 ※各年度の派遣及び受入合計人数(交流期間、単位取得の有無は問わない)(単位:人)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
合計人数	申請時の計画調書に記載した人数の転載 (事務局にて転載済)						15	10	20	10
申請時の計画調書記載人数	15	10					15	10	15	10
海外相手大学追加調書分	-	-					-	-	5	0

海外相手大学追加調書を提出した場合、追加調書分の人数を記入してください(複数大学の提出がある場合は、その合計数を記入)。提出がない場合は、「-」を記入してください。

② 事業の概念図 (計画調書からの転載)

計画調書の【②事業の概念図】からの転載
(事務局にて転載済)

③ 国内大学等の連携図 (計画調書からの転載)

計画調書の【③国内大学等の連携図】からの転載
(事務局にて転載済)

進捗状況の概要 【1ページ以内】

【進捗状況の概要】は、中間評価結果とともに基本的に原文のまま公表します。本事業の進捗状況、成果または発展への課題等について、広く社会に分かりやすく紹介するという観点から作成してください。その際、本欄だけで完結するようにしてください。（「〇ページ参照」等の記載は認められません。）

また、本欄に記入した内容について、本調書の記載事項と齟齬がないよう注意して作成してください。

※1ページ以内（文字の大きさは10.5ポイントで記入してください。）

中間評価までの交流学生数について、2021年度及び2022年度の計画と実績を記入してください。計画については、海外相手大学の追加により、計画した交流学生数に変更が生じている場合は、変更後の人数を記入してください。（変更がない場合は、申請時の計画調書に記載した人数を記入してください。）
なお、本調書内の以下の数値との齟齬がないよう注意して作成してください。

【質の保証を伴った交流プログラムの目的と内容】の「①交流プログラムの目的・概要等」の「本事業で計画している交流学生数」

【2. 目標の達成状況】の「⑦中間評価までの達成目標（3）学生に修得させる具体的能力のうち、一定の外国語力基準をクリアした日本人学生数の推移について」

【2. 目標の達成状況】の「⑧本事業計画において海外に留学する日本人学生数の推移」

【2. 目標の達成状況】の「⑨本事業計画において受け入れる外国人学生数の推移」

【2. 目標の達成状況】の「⑩中間評価までの交流学生数」

「【本事業における中間評価までの交流学生数の計画と実績】」については、Excelシートで作成した表を貼り付けて作成。

※ 作成したExcelシートも提出すること。

【本事業における中間評価までの交流学生数の計画と実績】

（単位：人）

		2021年度		2022年度	
		遣	受入	派遣	受入
計画※	「申請時の計画調書記載人数」と「海外相手大学追加調書分」の合計を記入してください。				
実績		0	0	0	0
実際に渡航した学生 （以下「実渡航」）					
自国にて国際教育・交流プログラム をオンラインで受講した学生 （以下「オンライン」）	I				
	II				
実渡航とオンライン受講を行った学生 （以下「ハイブリッド」）					

I	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
II	もともとオンライン実施で準備していたもの

※海外相手大学を追加している場合は、追加による交流学生数の増加分を含んでいる。

特筆すべき成果（グッドプラクティス）Ⅰ【1ページ以内】

【Ⅰ 事業全般について】

【特筆すべき成果（グッドプラクティス）】は、中間評価結果とともに基本的に原文のまま公表します。本事業の成果について、広く社会に分かりやすく紹介するという観点から作成してください。

- ・本欄だけで完結するようにしてください。（「〇ページ参照」等の記載は認められません。）
- ・適宜図表等を用いて作成いただいで構いません。
- ・本欄に記入した内容について、本調書の記載事項と齟齬がないよう注意して作成してください。

※文字の大きさは10.5ポイントで記入してください。

※特に国際教育・交流プログラムにおいて、オンラインを活用し、どのような工夫や改善を図ったかについては、次ページの「特筆すべき成果（グッドプラクティス）Ⅱ」に記載してください。

特筆すべき成果（グッドプラクティス）Ⅱ【1ページ以内】

【Ⅱ オンラインの活用について】

【特筆すべき成果（グッドプラクティス）】は、中間評価結果とともに基本的に原文のまま公表します。本事業の成果について、広く社会に分かりやすく紹介するという観点から作成してください。

- ・本欄だけで完結するようにしてください。（「〇ページ参照」等の記載は認められません。）
- ・コロナ禍であることを踏まえ、オンラインを活用してどのような工夫を図ったかについても記入してください。
- ・適宜図表等を用いて作成いただいても構いません。
- ・本欄に記入した内容について、本調書の記載事項と齟齬がないよう注意して作成してください。

※文字の大きさは10.5ポイントで記入してください。

※特に国際教育・交流プログラムにおいて、オンラインを活用し、どのような工夫や改善を図ったか（例：オンライン科目の単位互換や単位の相互認定に関する基準・ルールの設定等）について記載してください。

中間評価までのアクティビティ 【1ページ以内】

2021年 月

2022年 月

採択後から2022年度末までの当該事業に係るアクティビティについて、年月及び内容を、実施時期の早い順に記入してください。

また、2023年度のアクティビティのうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組等、積極的に示したい実績があれば記入してください。

なお、必要に応じて、採択前（2021年4月～事業開始）のアクティビティを記入してもかまいませんが、それらは中間評価の対象とはなりません。

記入する場合は、下記を参考に採択前のものであることを明示してください。

※1ページ以内

(採択前のアクティビティを記入する場合)

中間評価までのアクティビティ 【1ページ以内】	
2021年4月
2021年7月
	(以上、採択前のアクティビティ)
2022年12月

1. 取組状況	
① 交流プログラムの内容 【10ページ以内】	
申請時の事業計画	事業計画の実施状況
<p>【実績・準備状況】</p> <p>計画調書の【質の保証を伴った交流プログラムの目的と内容】 「④交流プログラムの内容」 からの転載（事務局にて転載済）</p> <p>【計画内容】</p> <p>(i) 実渡航による交流</p> <p>(ii) オンライン交流</p> <p>(iii) 実渡航とオンラインを組み合わせたハイブリッド型の交流</p>	<p>【2022年度末までの取組状況】</p> <p>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</p> <p>申請時の事業計画と対比させて、2021年度の採択後から2022年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。</p> <p>なお、2023年度取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組等、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が2023年度取組状況であることが分かるように記入してください。</p> <p>また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。</p> <p>※【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて10ページ以内</p> <p>【取組状況における課題点】</p> <p>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。</p> <p>なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。</p> <p>※【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて10ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。</p> <p>※【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて10ページ以内</p>

② 質の保証を伴った魅力的な大学間交流の枠組み形成 【9 ページ以内】

申請時の事業計画	事業計画の実施状況
<p>【実績・準備状況】</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>計画調書の【質の保証を伴った交流プログラムの目的と内容】 「⑤質の保証を伴った魅力的な大学間交流の枠組み形成」 からの転載（事務局にて転載済）</p> </div> <p>【計画内容】</p> <p>(i) 実渡航による交流</p> <p>(ii) オンライン交流</p> <p>(iii) 実渡航とオンラインを組み合わせたハイブリッド型の交流</p>	<p>【2022年度末までの取組状況】</p> <p>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>申請時の事業計画と対比させて、2021年度の採択後から2022年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。なお、2023年度取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組等、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が2023年度取組状況であることが分かるように記入してください。また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。 ※左記と対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて9ページ以内</p> </div> <p>【取組状況における課題点】</p> <p>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。 ※左記と対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて9ページ以内</p> </div> <p>【今後の展望】</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。 ※左記と対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて9ページ以内</p> </div>

③ 日本人学生の派遣及び外国人学生の受入のための環境整備 【(1)～(3)合わせて6ページ以内】	
申請時の事業計画	事業計画の実施状況
(1) 日本人学生の派遣のための環境整備	
<p>【実績・準備状況】</p> <p>計画調書の 【外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備】</p> <p>① 日本人学生の派遣のための環境整備 ② 外国人学生の受入のための環境整備 ③ 関係大学間の連絡体制の整備 からの転載（事務局にて転載済）</p> <p>【計画内容】</p>	<p>【2022年度末までの取組状況】</p> <p>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</p> <p>申請時の事業計画と対比させて、2021年度の採択後から2022年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。なお、2023年度取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組等、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が2023年度取組状況であることが分かるように記入してください。また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。</p> <p>※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて6ページ以内</p> <p>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。なお、本欄は「<u>箇条書き</u>」で記入してください。</p> <p>※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて6ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。</p> <p>※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて6ページ以内</p>
(2) 外国人学生の受入のための環境整備	
<p>【実績・準備状況】</p>	<p>【2022年度末までの取組状況】</p> <p>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</p> <p>申請時の事業計画と対比させて、2021年度の採択後から2022年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。なお、2023年度取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組等、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が2023年度取組状況であることが分かるように記入してください。また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。</p> <p>※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて6ページ以内</p>

<p>【計画内容】</p>	<p>【取組状況における課題点】</p> <p><i>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</i></p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。なお、本欄は「<u>簡条書き</u>」で記入してください。</p> <p>※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて6ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。</p> <p>※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて6ページ以内</p>
<p>(3) 関係大学間の連絡体制の整備</p>	
<p>【実績・準備状況】</p> <p>【計画内容】</p>	<p>【2022年度末までの取組状況】</p> <p><i>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</i></p> <p>申請時の事業計画と対比させて、2021年度の採択後から2022年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。なお、2023年度の取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組等、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が2023年度の取組状況であることが分かるように記入してください。また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。</p> <p>※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて6ページ以内</p> <p><i>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</i></p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。なお、本欄は「<u>簡条書き</u>」で記入してください。</p> <p>※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて6ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。</p> <p>※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて6ページ以内</p>

④ 事業の実施に伴う大学の国際化と情報の公開、成果の普及 【(1)、(2)合わせて5ページ以内】	
申請時の事業計画	事業計画の実施状況
(1) 事業の実施に伴う大学の国際化	
<p>【実績・準備状況】</p> <p>計画調書の【事業の実施に伴う大学の国際化と情報の公開、成果の普及】</p> <p>①事業の実施に伴う大学の国際化</p> <p>②国内外への情報提供の方法・体制、成果の普及 からの転載（事務局にて転載済）</p> <p>【計画内容】</p>	<p>【2022年度末までの取組状況】</p> <p>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</p> <p>申請時の事業計画と対比させて、2021年度の採択後から2022年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。なお、2023年度取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組等、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が2023年度取組状況であることが分かるように記入してください。また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。</p> <p>※左記(1)、(2)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて5ページ以内</p> <p>【取組状況における課題点】</p> <p>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。 なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。</p> <p>※左記(1)、(2)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて5ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。</p> <p>※左記(1)、(2)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて5ページ以内</p>

(2) 国内外への情報提供の方法・体制、成果の普及

【実績・準備状況】

【計画内容】

【2022年度末までの取組状況】

* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。

申請時の事業計画と対比させて、2021年度の採択後から2022年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。なお、2023年度の取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組等、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が2023年度の取組状況であることが分かるように記入してください。また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。

※左記(1)、(2)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて5ページ以内

【取組状況における課題点】

* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。

事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。

なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。

※左記(1)、(2)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて5ページ以内

【今後の展望】

上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。

※左記(1)、(2)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて5ページ以内

⑤ 事業計画の実現性、事業の発展性（補助期間終了後の継続性を含む）、交流プログラムの質の向上のための評価体制 【(1)は1ページ以内、(2)～(4)は合わせて5ページ以内】

申請時の事業計画	事業計画の実施状況
<p>(1) 年度別実施計画</p> <p>【2021年度（申請時の準備状況も記載）】</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>計画調書の【事業計画の実現性、事業の発展性】</p> <p>①年度別実施計画</p> <p>②交流プログラムの質の向上のための評価体制</p> <p>③補助期間終了後の事業展開</p> <p>④補助期間終了後の事業展開に向けた資金計画 からの転載（事務局にて転載済）</p> </div> <p>【2022年度】</p>	<p>【2022年度末までの取組状況】</p> <p>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>申請時の事業計画と対比させて、2021年度の採択後から2022年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。 なお、2023年度取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組等、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が2023年度の取組状況であることが分かるように記入してください。また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。</p> <p>※左記(1)と対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて1ページ以内</p> </div> <p>【取組状況における課題点】</p> <p>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。 なお、本欄は「<u>箇条書き</u>」で記入してください。</p> <p>※左記(1)と対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて1ページ以内</p> </div> <p>【今後の展望】</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。</p> <p>※左記(1)と対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて1ページ以内</p> </div>

(2) 交流プログラムの質の向上のための評価体制

【2022年度末までの取組状況】

申請時の事業計画と対比させて、2021年度の採択後から2022年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

なお、2023年度取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組等、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が2023年度取組状況であることが分かるように記入してください。また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。

※左記(2)～(4)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて5ページ以内

【取組状況における課題点】

事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。

なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。

※左記(2)～(4)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて5ページ以内

【今後の展望】

上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。

※左記(2)～(4)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて5ページ以内

(3) 補助期間終了後の事業展開

【2022年度末までの取組状況】

*** 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。**

申請時の事業計画と対比させて、2021年度の採択後から2022年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

なお、2023年度取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組等、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が2023年度取組状況であることが分かるように記入してください。また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。

※左記(2)～(4)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて5ページ以内

	<p>【取組状況における課題点】</p> <p><small>* 計画に対し、進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</small></p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。</p> <p>なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。</p> <p>※左記(2)～(4)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて5ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。</p> <p>※左記(2)～(4)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて5ページ以内</p>
<p>(4) 補助期間終了後の事業展開に向けた資金計画</p>	
	<p>【2022年度末までの取組状況】</p> <p><small>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</small></p> <p>申請時の事業計画と対比させて、2021年度の採択後から2022年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。</p> <p>なお、2023年度の取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組等、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が2023年度の取組状況であることが分かるように記入してください。また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。</p> <p>※左記(2)～(4)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて5ページ以内</p> <p>【取組状況における課題点】</p> <p><small>* 計画に対し、進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</small></p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。</p> <p>なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。</p> <p>※左記(2)～(4)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて5ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。</p> <p>※左記(2)～(4)とそれぞれ対応する【2022年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて5ページ以内</p>

⑥ 留意事項への対応 【1ページ以内】

審査結果表〔留意事項（改善を要する点、留意すべき点）〕※経費面を含む

留意事項への対応状況

審査結果表に記載されている〔留意事項（改善を要する点、留意すべき点）〕（当該大学にのみ開示）からの転載
（事務局にて転載済）

【2022年度末までの取組状況】 * 対応が遅れている場合は、その背景や事情等を説明すること。

左記の内容に対応する2021年度の採択後から2022年度末までの当該事業に係る取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。
なお、2023年度取組状況のうち、左記の内容に係る対応で積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が2023年度取組状況であることが分かるように記入してください。
また、留意事項への対応が遅れている場合は、その背景や事情等を説明してください。
※【2022年度末までの取組状況】【今後の展望】を合わせて1ページ以内

【今後の展望】 * 対応が遅れている場合は、遅れを取り戻すための今後の対応を記入すること。

上記取組状況を踏まえた、今後の展望について記入してください。
また、留意事項への対応が遅れている場合は、遅れを取り戻すための今後の対応を記入してください。
※【2022年度末までの取組状況】【今後の展望】を合わせて1ページ以内

2. 目標の達成状況	
⑦ 中間評価までの達成目標 【(1)～(5)合わせて18ページ以内】	
申請時の事業計画	事業計画の実施状況
(1) 将来の関係を見据えた連携強化に資する目標について	
(i) 事業計画全体の達成目標（事業開始～2025年度まで） <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>計画調書の【達成目標】</p> <p>① 将来の関係を見据えた連携強化に資する目標について</p> <p>② 養成しようとするグローバル人材像について</p> <p>③-1 学生に修得させる具体的能力のうち、一定の外国語力基準をクリアする日本人学生数の推移について</p> <p>③-2 学生に修得させる具体的能力のうち、「③-1」以外について</p> <p>④ 質の保証を伴った大学間交流の枠組みの形成及び拡大に向けた具体的な取組について</p> <p>からの転載（事務局にて転載済）</p> </div>	(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～2022年度まで） <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>【2022年度末における目標の達成状況】</p> <p>左記(1)の内容のうち、 <u>②(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～2022年度まで）</u> に対応する達成状況について、申請時の目標と対比させて文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。 特に、以下の観点に基づき記載してください。 ・アウトプットだけでなくアウトカムに関する具体的な目標について計画どおり達成されているか。 ※左記(1)～(5)とそれぞれ対応する【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて18ページ以内</p> </div> <p>【目標の達成状況における課題点】</p> <p><small>* 目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明の上、目標達成に向けた今後の対応について記入すること。</small></p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>申請時の目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明した上で、目標達成に向けた今後の対応について記入してください。 なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。 ※左記(1)～(5)とそれぞれ対応する【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて18ページ以内</p> </div> <p>【今後の展望】</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>上記の達成状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。 ※左記(1)～(5)とそれぞれ対応する【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて10ページ以内</p> </div>
(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～2022年度まで）	

(2) 養成しようとするグローバル人材像について

(i) 事業計画全体の達成目標 (事業開始～2025年度まで)

(ii) 中間評価までの達成目標 (事業開始～2022年度まで)

(ii) 中間評価までの達成目標 (事業開始～2022年度まで)

【2022年度末における目標の達成状況】

左記(2)の内容のうち、

(ii) 中間評価までの達成目標 (事業開始～2022年度まで)

に対応する達成状況について、申請時の目標と対比させて文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

※左記(1)～(5)とそれぞれ対応する【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて18ページ以内

【目標の達成状況における課題点】

* 目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明の上、目標達成に向けた今後の対応について記入すること。

申請時の目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明した上で、目標達成に向けた今後の対応について記入してください。

なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。

※左記(1)～(5)とそれぞれ対応する【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて18ページ以内

【今後の展望】

上記の達成状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。

※左記(1)～(5)とそれぞれ対応する【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて18ページ以内

(3) 学生に修得させる具体的能力のうち、一定の外国語力基準をクリアした日本人学生数の推移について

(i) 本事業計画において定める外国語力基準及び同基準をクリアする学生数に関する達成目標

申請時の計画調書に記載した人数の転載		達成目標 (単位:人(延べ数))	
外国語力基準	中間評価まで (事業開始～2022年度まで)	事業計画全体 (事業開始～2025年度まで)	

(i) 本事業計画において定める外国語力基準及び同基準をクリアした学生数に関する達成状況

外国語力基準	達成状況 (単位:人)	
	2021年度	2022年度
本事業計画において派遣した日本人学生合計数	3	20

グレーの網掛け部分には記入しないでください。

外国語力基準を達成した学生数について、2021年度及び2022年度の計画と実績を記入してください。
 計画については、新たに外国語力基準を追加したことにより学生数に変更が生じている場合は、変更後の人数を記入してください。(変更が無い場合は、申請時の計画調書に記載した人数を記入してください。)
 なお、本調書内の以下の数値との齟齬がないよう注意して作成してください。
【質の保証を伴った交流プログラムの目的と内容】の「①交流プログラムの目的・概要等」の「本事業で計画している交流学生数」
【進捗状況の概要】の「【本事業における中間評価までの交流学生数の計画と実績】」
【2. 目標の達成状況】の「⑧本事業計画において海外に留学する日本人学生数の推移」
【2. 目標の達成状況】の「⑩中間評価までの交流学生数」

達成目標及び達成状況の表については、Excelシートで作成した表を貼り付けて作成。※ 作成したExcelシートも提出すること。

(iii) 事業計画全体の目標達成に向けたプロセス (事業開始～2025年度まで)
 (※ (i) において複数の外国語力基準を設けている場合は、それぞれについて目標を明示すること)

(iv) 中間評価までの目標達成に向けたプロセス (事業開始～2021年度まで)

【2022年度末における目標の達成状況】

左記(3)の内容のうち、
【(iv) 中間評価までの目標達成に向けたプロセス (事業開始～2022年度まで)】
 に対応する達成状況について、出来る限り、申請時の目標と対比させて具体的・客観的なデータ (外部で実施されている資格試験等の成績結果等) を基に分かりやすく記入してください。(実績値を明記してください)。
※左記(1)～(5)とそれぞれ対応する【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて18ページ以内

【目標の達成状況における課題点】

申請時の目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明した上で、目標達成に向けた今後の対応について記入してください。
 なお、本欄は「**箇条書き**」で記入してください。
※左記(1)～(5)とそれぞれ対応する【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて18ページ以内

【今後の展望】

上記の達成状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。
※左記(1)～(5)とそれぞれ対応する【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて18ページ以内

(iv) 中間評価までの目標達成に向けたプロセス (事業開始～2022年度まで)
 (※ (i) において複数の外国語力基準を設けている場合は、それぞれについて目標を明示すること)

(4) 学生に修得させる具体的能力のうち、(3)以外について

(i) 事業計画全体の達成目標 (事業開始～2025年度まで)

(ii) 中間評価までの達成目標 (事業開始～2022年度まで)

(ii) 中間評価までの達成目標 (事業開始～2022年度まで)

【2022年度末における目標の達成状況】

左記(4)の内容のうち、

【(ii) 中間評価までの達成目標 (事業開始～2022年度まで)

に対応する達成状況について、出来る限り、申請時の目標と対比させて文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

※左記(1)～(5)とそれぞれ対応する【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて18ページ以内

【目標の達成状況における課題点】

申請時の目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明した上で、目標達成に向けた今後の対応について記入してください。

なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。

※左記(1)～(5)とそれぞれ対応する【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて18ページ以内

【今後の展望】

上記の達成状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。

※左記(1)～(5)とそれぞれ対応する【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて18ページ以内

(5) 質の保証を伴った大学間交流の枠組みの形成及び拡大に向けた具体的な取組について

(i) 事業計画全体の達成目標 (事業開始～2025年度まで)

(ii) 中間評価までの達成目標 (事業開始～2022年度まで)

(ii) 中間評価までの達成目標 (事業開始～2022年度まで)

【2022年度末における目標の達成状況】

左記(5)の内容のうち、

(ii) 中間評価までの達成目標 (事業開始～2022年度まで)

に対応する達成状況について、申請時の目標と対比させて文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

※左記(1)～(5)とそれぞれ対応する【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて18ページ以内

【目標の達成状況における課題点】

** 目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明の上、目標達成に向けた今後の対応について記入すること。*

申請時の目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明した上で、目標達成に向けた今後の対応について記入してください。

なお、本欄は「**箇条書き**」で記入してください。

※左記(1)～(5)とそれぞれ対応する【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて18ページ以内

【今後の展望】

上記の達成状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。

※左記(1)～(5)とそれぞれ対応する【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて18ページ以内

⑧ 本事業計画において海外に留学する日本人学生数の推移【4ページ以内】

現状（2020年5月1日現在）※

※現状は、本事業の取組単位（全学、学部等）における2020年5月1日現在の人数。



申請時の計画調書に記載した人数の転載（事務局にて転載済）

(i) 日本人学生数の達成目標		(単位:人(延べ数))				
事業計画全体の達成目標(事業開始～2025年度まで)		23				
うち申請時の事業計画全体の達成目標(海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載)		7				
中間評価までの達成目標(事業開始～2022年度まで)		4				
うち申請時の中間評価までの達成目標(海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載)		1				
申請	海外相手大学追加調書を提出した場合、追加調書分の人数を記入してください(複数大学の提出がある場合は、その合計数を記入) 追加調書の提出がない場合は「-」と記載してください	2021年度	2022年度			
		0	3			
		0	0	1	3	2
		0	2	0	1	5
	実渡航とオンライン受講を行う学生	0	1	1	0	0
海外相手大学追加調書分	実際に渡航する学生	-	-	-	-	-
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	-	-	-	-	-
	実渡航とオンライン受講を行う学生	-	-	-	-	-

「申請時の計画調書記載人数」と「海外相手大学追加調書分」の合計を記入してください。

海外相手大学追加調書を提出した場合、追加調書分の人数を記入してください(複数大学の提出がある場合は、その合計数を記入)
追加調書の提出がない場合は「-」と記載してください

(ii) 目標を設定した考え方及び達成までのプロセス（事業計画全体、中間評価までの双方について）

(a) 実渡航による交流

計画調書の【達成目標】

⑤本事業計画において海外に留学する日本人学生数の推移からの転載（事務局にて転載済）

(b) オンライン交流

(c) 実渡航とオンラインを組み合わせたハイブリッド型の交流

(i) 日本人学生数の目標の達成状況		(単位:人(延べ数))				
事業計画全体の達成状況(事業開始～2025年度まで)						
中間評価までの達成状況(事業開始～2022年度まで)		18				

		(単位:人)				
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
合計人数		3	15			
実際に渡航した学生		0	5			
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生	I	1	2			
	II	2	8			
実渡航とオンライン受講を行った学生		0	0			

濃いグレーの網掛け部分には記入しないでください。

I	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
II	もともとオンライン実施で準備していたもの

【2022年度末における目標の達成状況】

左記の内容に対する、2022年度末における目標の達成状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。
 ※日本人学生数の目標の達成状況(表)、【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】【今後の展望】を合わせて4ページ以内日本人学生数の達成目標と達成状況の表については、Excelシートで作成した表を貼り付けて作成。
 ※作成したExcelシートも提出すること。

※追加調書がある場合の記入例

(i) 日本人学生数の達成目標		(単位:人(延べ数))				
事業計画全体の達成目標(事業開始～2025年度まで)		23				
うち申請時の事業計画全体の達成目標(海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載)		7				
中間評価までの達成目標(事業開始～2022年度まで)		4				
うち申請時の中間評価までの達成目標(海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載)		1				
申請	「申請時の計画調書記載人数」と「海外相手大学追加調書分」の合計を記入してください。	2021年度	2022年度			
	海外相手大学追加調書を提出した場合、追加調書分の人数を記入してください(複数大学の提出がある場合は、その合計数を記入) 追加調書の提出がない場合は「-」と記載してください	0	4			
		0	0	1	3	2
		0	2	0	1	5
	実渡航とオンライン受講を行う学生	0	1	1	0	0
	実際に渡航する学生	0	0	0	0	0
海外相手大学追加調書分	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	0	1	0	3	0
	実渡航とオンライン受講を行う学生	0	0	3	0	0

【目標の達成状況における課題点】

* 目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明の上、目標達成に向けた今後の対応について記入すること。

申請時の目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明した上で、目標達成に向けた今後の対応について記入してください。
 なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。
※日本人学生数の目標の達成状況(表)、【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて4ページ以内

【今後の展望】

上記の達成状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。
※日本人学生数の目標の達成状況(表)、【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて4ページ以内

⑨ 本事業において受け入れる外国人学生数の推移【4ページ以内】

現状（2020年5月1日現在）※

※現状は、本事業の取組単位（全学、学部等）における2020年5月1日現在の人数。

人

申請時の計画調査に記載した人数の転載（事務局にて転載済）

(i) 外国人学生数の達成目標		(単位:人(延べ数))				
事業計画全体の達成目標(事業開始～2025年度まで)		26				
うち申請時の事業計画全体の達成目標(海外相手大学追加調査分がある場合のみ記載)		10				
中間評価までの達成目標(事業開始～2022年度まで)		5				
うち申請時の中間評価までの達成目標(海外相手大学追加調査分がある場合のみ記載)		3				
		(単位:人)				
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
海外相手大学追加調査を提出した場合、追加調査分の人数を記入してください (複数大学の提出がある場合は、その合計数を記入) 追加調査の提出がない場合は「-」と記載してください		0	5	1	1	3
海外相手大学追加調査分		0	0	1	0	1
実際に渡航する学生		0	0	1	0	1
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生		0	2	1	1	1
実渡航とオンライン受講を行う学生		0	1	1	1	0

海外相手大学追加調査を提出した場合、追加調査分の人数を記入してください
(複数大学の提出がある場合は、その合計数を記入)
追加調査の提出がない場合は「-」と記載してください

「申請時の計画調査記載人数」と「海外相手大学追加調査分」の合計を記入してください。

(ii) 目標を設定した考え方及び達成までのプロセス（事業計画全体、中間評価までの双方について）

(a) 実渡航による交流

計画調査の【達成目標】

⑥本事業計画において受け入れる外国人学生数の推移

(b) オンラインからの転載（事務局にて転載済）

(c) 実渡航とオンラインを組み合わせたハイブリッド型の交流

(i) 外国人学生数の目標の達成状況		(単位:人(延べ数))				
事業計画全体の達成状況(事業開始～2025年度まで)						
中間評価までの達成状況(事業開始～2022年度まで)		30				
		(単位:人)				
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
合計人数		1	29			
実際に渡航した学生		0	9			
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生		I 1	13			
		II 0	5			
実渡航とオンライン受講を行った学生		0	2			
I	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替え					
II	もともとオンライン実施で準備していたもの					

濃いグレーの網掛け部分には記入しないでください。

左記の「中間評価までの達成目標」に対する、2022年度末における数値実績を記入してください。

【2022年度末における目標の達成状況】

左記の内容に対する、2022年度末における目標の達成状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

※外国人学生数の目標の達成状況（表）、【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて4ページ以内

外国人学生数の達成目標と達成状況の表については、Excelシートで作成した表を貼り付けて作成。

※作成したExcelシートも提出すること。

【目標の達成状況における課題点】

* 目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明の上、目標達成に向けた今後の対応について記入すること。

申請時の目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明した上で、目標達成に向けた今後の対応について記入してください。

なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。

※外国人学生数の目標の達成状況（表）、【2022年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて4ページ以内

【今後の展望】

上記の達成状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。
※外国人学生数の目標の達成状況（表）、【2022年度末における目標の達成状況】
【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて4ページ以内

⑩ 中間評価までの交流学生数

(i) 交流学生数(実績)、(ii) 国内大学及び交流プログラムごとの交流学生数

(i) 本事業で計画している交流学生数(計画)

(単位:人)

中国側大学	韓国側大学	ASEAN側大学
64	52	59

計画調書に記載した交流学生数を記入してください
(海外相手大学追加調書の提出がある場合は、追加分を含む)

(i)-1 プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)

(単位:人)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
各年度の派遣及び受入合計人数 (交流期間、単位取得の有無等の内訳は、(iii)表参照)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(内訳) 自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで 受講する学生(以下「オンライン」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※(i)、(i)-1、(i)-2、(ii)、(iii)の各表の
数値が重複のないように記入してください

(i)-2に基づき自動入力されます

(i) 本事業における交流学生数(実績)

(単位:人)

中国側大学	韓国側大学	ASEAN側大学
72	72	35

(i)-1 プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)

(単位:人)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
各年度の派遣及び受入合計人数 (交流期間、単位取得の有無等の内訳は、(iii)表参照)	29	18	52	40	0	0	0	0	0	0	81	58
実際に渡航した学生 (以下「実渡航」)	14	4	26	9							40	13
(内訳) 自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講し た学生(以下「オンライン」)	I	10	4	4	12						14	16
	II	2	10	12	10						14	20
実渡航とオンライン受講を行った学生 (以下「ハイブリッド」)	3	0	10	9							13	9

(i)-2に基づき自動入力されます

I コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
II もともとオンライン実施で準備していたもの

(i)-2 日中韓の3か国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳(計画)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
三ヶ国共通の財政支援対象となる交流学生数												
交流相手国 中国	実渡航											
	オンライン											
	ハイブリッド											
交流相手国 韓国	実渡航											
	オンライン											
	ハイブリッド											
交流相手国 ASEAN	実渡航											
	オンライン											
	ハイブリッド											
交流相手国 中国 及び 韓国	実渡航											
	オンライン											
	ハイブリッド											
交流相手国 中国 及び ASEAN	実渡航											
	オンライン											
	ハイブリッド											
交流相手国 韓国 及び ASEAN	実渡航											
	オンライン											
	ハイブリッド											
交流相手国 中国、韓国 及び ASEAN	実渡航											
	オンライン											
	ハイブリッド											
自己負担または大学負担等による交流学生数												
	実渡航											
	オンライン											
	ハイブリッド											

計画調書に記載した交流学生数を記入してください(海外相手大学追加調査の提出がある場合は、追加分を含む)

(i)-2 日中韓の3か国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳(実績)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計			
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入		
三ヶ国共通の財政支援対象となる交流学生数														
交流相手国 中国	実渡航	5	0	5	0							10	0	
	オンライン	I	5	3	2	3							7	6
		II	0	3	3	0							3	3
	ハイブリッド	3	0	0	0							3	0	
交流相手国 韓国	実渡航	7	4	0	2							7	6	
	オンライン	I	5	1	0	2							5	3
		II	2	2	3	2							5	4
	ハイブリッド	0	0	2	0							2	0	
交流相手国 ASEAN	実渡航	2	0	1	4							3	4	
	オンライン	I	0	0	0	2							0	2
		II	0	5	5	8							5	13
	ハイブリッド	0	0	8	0							8	0	
交流相手国 中国 及び 韓国	実渡航	0	0	20	3							20	3	
	オンライン	I	0	0	2	5							2	5
		II	0	0	1	0							1	0
	ハイブリッド	0	0	0	9							0	9	
交流相手国 中国 及び ASEAN	実渡航	0	0	0	0							0	0	
	オンライン	I	0	0	0	0							0	0
		II	0	0	0	0							0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0							0	0	
交流相手国 韓国 及び ASEAN	実渡航	0	0	0	0							0	0	
	オンライン	I	0	0	0	0							0	0
		II	0	0	0	0							0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0							0	0	
交流相手国 中国、韓国 及び ASEAN	実渡航	0	0	0	0							0	0	
	オンライン	I	0	0	0	0							0	0
		II	0	0	0	0							0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0							0	0	
自己負担または大学負担等による交流学生数														
	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
オンライン	I	0	0	0	0							0	0	
		0	0	0	0							0	0	
	II	0	0	0	0							0	0	
ハイブリッド	0	0	0	0							0	0		

(ii) 国内大学及び交流プログラムごとの交流学生数(計画)

交流形態	①	単位取得を伴う交流期間30日未満の交流	A	実渡航
	②	単位取得を伴う交流期間30日以上3ヶ月未満の交流	B	オンライン
	③	単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流	C	ハイブリッド
	④	上記以外の交流期間30日未満の交流		
	⑤	上記以外の交流期間30日以上3ヶ月未満の交流		
	⑥	上記以外の交流期間3ヶ月以上の交流		

1.【代表申請大学】

大学名			(単位:人)																
交流プログラム名 (相手大学名)	交流方向	交流形態	2021年度			2022年度			2023年度			2024年度			2025年度			合計	
			A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C		
			(記入例1) ○○交流プログラム (もしくは●●大学)	派遣	②														
	派遣	③																	
	受入	②																	
	受入	③																	
△△交流プログラム (もしくは▲▲大学)	派遣	①																	
	受入	①																	
(記入例2) ■●大学 ◆◆大学	派遣	①																	
	受入	①																	

2.【国内連携大学等】

大学名			(単位:人)																
交流プログラム名 (相手大学名)	交流方向	交流形態	2021年度			2022年度			2023年度			2024年度			2025年度			合計	
			A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C		
				派遣															
	受入																		0
	派遣																		0
	受入																		0

(ii) 国内大学及び交流プログラムごとの交流学生数(実績)

交流形態	①	単位取得を伴う交流期間30日未満の交流	A	実渡航
	②	単位取得を伴う交流期間30日以上3ヶ月未満の交流	B	オンライン
	③	単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流	C	ハイブリッド
	④	上記以外の交流期間30日未満の交流		
	⑤	上記以外の交流期間30日以上3ヶ月未満の交流		
	⑥	上記以外の交流期間3ヶ月以上の交流		

B I コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
II もともとオンライン実施で準備していたもの

1.【代表申請大学】

大学名			(単位:人)																	
交流プログラム名 (相手大学名)	交流方向	交流形態	2021年度			2022年度			2023年度			2024年度			2025年度			合計		
			A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C			
				派遣	②	3	2	0	1	10	4	8	2							
	派遣	③	0	0	1	0	12	0	2	2										17
	受入	②	1	2	0	6	3	6	0	5										23
	受入	③	1	2	0	0	2	4	2	0										11
△△交流プログラム (もしくは▲▲大学)	派遣	①	9	4	1	0	2	0	2	3										21
	受入	①	1	0	0	0	2	2	3	2										10
(記入例2) ■●大学 ◆◆大学	派遣	①	2	4	0	2	2	0	0	3										13
	受入	①	1	0	0	0	2	0	5	2										10

2.【国内連携大学等】

大学名			(単位:人)																	
交流プログラム名 (相手大学名)	交流方向	交流形態	2021年度			2022年度			2023年度			2024年度			2025年度			合計		
			A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C						
				派遣																
	受入																		0	
	派遣																		0	
	受入																		0	

【上記の表 (i) (ii) の補足説明や今後の展望】

(iii) 本事業で実施した交流学生数（派遣・受入別 各内訳の集計）

(iii) 本事業で計画している交流学生数(派遣・受入別 各内訳の集計)

(単位:人)

日本人学生の派遣【計画】	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
年度別合計人数						
【交流形態別 内訳】						
①単位取得を伴う交流期間30日未満の交流						
実渡航						
オンライン						
ハイブリッド						
②単位取得を伴う交流期間30日以上3ヶ月未満の交流						
実渡航						
オンライン						
ハイブリッド						
③単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流						
実渡航						
オンライン						
ハイブリッド						
④上記以外の交流期間30日未満の交流						
実渡航						
オンライン						
ハイブリッド						
⑤上記以外の交流期間30日以上3ヶ月未満の交流						
実渡航						
オンライン						
ハイブリッド						
⑥上記以外の交流期間3ヶ月以上の交流						
実渡航						
オンライン						
ハイブリッド						

計画調査に記載した交流学生数を記入してください(海外相手大学追加調査の提出がある場合は追加分を含む)

(iii) 本事業で実施した交流学生数(派遣・受入別 各内訳の集計)

(単位:人)

日本人学生の派遣【実績】	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
年度別合計人数	29	52				81
【交流形態別 内訳】						
①単位取得を伴う交流期間30日未満の交流	10	24				34
実渡航	5	8				13
オンライン	I 0 II 2	I 4 II 2				8
ハイブリッド	3	10				13
②単位取得を伴う交流期間30日以上3ヶ月未満の交流	5	0				5
実渡航	3	0				3
オンライン	I 2 II 0	I 0 II 0				2
ハイブリッド	0	0				0
③単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流	3	14				17
実渡航	3	10				13
オンライン	I 0 II 0	I 0 II 4				4
ハイブリッド	0	0				0
④上記以外の交流期間30日未満の交流	4	14				18
実渡航	0	8				8
オンライン	I 4 II 0	I 0 II 6				10
ハイブリッド	0	0				0
⑤上記以外の交流期間30日以上3ヶ月未満の交流	7	0				7
実渡航	3	0				3
オンライン	I 4 II 0	I 0 II 0				4
ハイブリッド	0	0				0
⑥上記以外の交流期間3ヶ月以上の交流	0	0				0
実渡航	0	0				0
オンライン	I 0 II 0	I 0 II 0				0
ハイブリッド	0	0				0

【上記の表「(iii) 日本人学生の派遣」の補足説明や今後の展望】

(iii) 本事業で実施した交流学生数（派遣・受入別 各内訳の集計）

(iii) 本事業で計画している交流学生数(派遣・受入別 各内訳の集計)

(単位:人)

外国人学生の受入【計画】	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
年度別合計人数						
【交流形態別 内訳】						
①単位取得を伴う交流期間30日未満の交流						
実渡航						
オンライン						
ハイブリッド						
②単位取得を伴う交流期間30日以上3ヶ月未満の交流						
実渡航						
オンライン						
ハイブリッド						
③単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流						
実渡航						
オンライン						
ハイブリッド						
④上記以外の交流期間30日未満の交流						
実渡航						
オンライン						
ハイブリッド						
⑤上記以外の交流期間30日以上3ヶ月未満の交流						
実渡航						
オンライン						
ハイブリッド						
⑥上記以外の交流期間3ヶ月以上の交流						
実渡航						
オンライン						
ハイブリッド						

計画調書に記載した交流学生数を記入してください
(海外相手大学追加調書の提出がある場合は、追加分を含みます)

(iii) 本事業で実施した交流学生数(派遣・受入別 各内訳の集計)

(単位:人)

外国人学生の受入【実績】	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
年度別合計人数	18	40				58
【交流形態別 内訳】						
①単位取得を伴う交流期間30日未満の交流	4	16				20
実渡航	2	3				5
オンライン	I 2 II 0	I 2 II 10				14
ハイブリッド	0	1				1
②単位取得を伴う交流期間30日以上3ヶ月未満の交流	4	5				9
実渡航	2	3				5
オンライン	I 0 II 2	I 2 II 0				4
ハイブリッド	0	0				0
③単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流	6	0				6
実渡航	0	0				0
オンライン	I 0 II 6	I 0 II 0				6
ハイブリッド	0	0				0
④上記以外の交流期間30日未満の交流	4	13				17
実渡航	0	3				3
オンライン	I 2 II 2	I 6 II 0				10
ハイブリッド	0	4				4
⑤上記以外の交流期間30日以上3ヶ月未満の交流	0	6				6
実渡航	0	0				0
オンライン	I 0 II 0	I 2 II 0				2
ハイブリッド	0	4				4
⑥上記以外の交流期間3ヶ月以上の交流	0	0				0
実渡航	0	0				0
オンライン	I 0 II 0	I 0 II 0				0
ハイブリッド	0	0				0

【上記の表「(iii) 外国人学生の受入」の補足説明や今後の展望】

(iv) 派遣・受入別 交流プログラム学生数の詳細、(v) 宿舍の提供について、(vi) 同窓会ネットワークへの参加者数について (タイプA①・A②のみ)

(iv) 派遣・受入別 交流プログラム学生数の詳細

派遣先大学が複数ある場合は、全ての大学を記入すること。

①日本人学生の派遣(日本⇒中国、韓国、ASEAN)【計画】

年度	交流期間	派遣元大学	派遣先大学	派遣相手国	交流内容 (交流プログラム名等)	交流形態	交流 学生数	内訳		
								実選航	オンライン	ハイブリッド
2021	2021.10 ~ 2021.12	JSPS大学	●●大学	中国	○○交流プログラム	②単位取得を伴う交流期間30日以上3か月未満の交流	7	1	2	4
2022	2022.4 ~ 2022.4	JSPS大学	▲▲大学	中国及び韓国	△△交流プログラム	④上記以外の交流期間30日未満の交流	15	2	9	4
2022	2022.8 ~ 2022.8	JSPS大学	■■大学・◆◆大学	インドネシア	■■大学・◆◆大学との交流	①単位取得を伴う交流期間30日未満の交流	14	0	10	4

②外国人学生の受入(中国、韓国、ASEAN⇒日本)【計画】

年度	交流期間	派遣元大学	派遣相手国	派遣先大学	交流内容 (交流プログラム名等)	交流形態	交流 学生数	内訳		
								実選航	オンライン	ハイブリッド
2021	2021.10 ~ 2021.12	●●大学	中国	JSPS大学	○○交流プログラム	②単位取得を伴う交流期間30日以上3か月未満の交流	3	1	2	0
2022	2022.4 ~ 2022.4	▲▲大学	中国及び韓国	JSPS大学	△△交流プログラム	④上記以外の交流期間30日未満の交流	9	2	5	2
2022	2022.8 ~ 2022.8	■■大学 ◆◆大学	インドネシア	JSPS大学	■■大学・◆◆大学との交流	※記入欄が不足する場合は、適宜行およびページを追加してください。				

(v) 宿舍の提供について【計画】

宿舎(大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等)を提供予定の学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	25	25

(vi) 同窓会ネットワークへの参加者数について【計画】 ※タイプA①・A②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた同窓会ネットワークへの参加者数について	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
		120	15	※該当しない申請タイプの大学は空欄のまま提出してください。		

【参加者数を増加させるための取組】

(iv) 派遣・受入別 交流プログラム学生数の詳細

①日本人学生の派遣(日本⇒中国、韓国、ASEAN)【実績】

年度	交流期間	派遣元大学	派遣先大学	派遣相手国	交流内容 (交流プログラム名等)	交流形態	交流 学生数	内訳			
								実選航	オンライン	ハイブリッド	
2021	2021.10 ~ 2021.12	JSPS大学	●●大学	中国	○○交流プログラム	②単位取得を伴う交流期間30日以上3か月未満の交流	7	3	2	1	1
2022	2022.4 ~ 2022.4	JSPS大学	▲▲大学	中国及び韓国	△△交流プログラム	④上記以外の交流期間30日未満の交流	7	2	2	0	3
2022	2022.8 ~ 2022.8	JSPS大学	■■大学 ◆◆大学	インドネシア	■■大学・◆◆大学との交流	①単位取得を伴う交流期間30日未満の交流	5	2	0	0	3

②外国人学生の受入(中国、韓国、ASEAN⇒日本)【実績】

年度	交流期間	派遣元大学	派遣相手国	派遣先大学	交流内容 (交流プログラム名等)	交流形態	交流 学生数	内訳			
								実選航	オンライン	ハイブリッド	
2021	2021.10 ~ 2021.12	●●大学	中国	JSPS大学	○○交流プログラム	②単位取得を伴う交流期間30日以上3か月未満の交流	12	2	2	2	6
2022	2022.4 ~ 2022.4	▲▲大学	中国及び韓国	JSPS大学	△△交流プログラム	④上記以外の交流期間30日未満の交流	9	2	3	2	2
2022	2022.8 ~ 2022.8	■■大学 ◆◆大学	インドネシア	JSPS大学	■■大学・◆◆大学との交流	※記入欄が不足する場合は、適宜行およびページを追加してください。					

【上記の表 (iv) の補足説明や今後の展望】

(v) 宿舍の提供について【実績】

宿舎(大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等)を提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	3	0	8							0	11

【上記の表 (v) の補足説明や今後の展望】

(vi) 同窓会ネットワークへの参加者数について【実績】 ※タイプA①・A②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた同窓会ネットワークへの参加者数について	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
		80	130	※該当しない申請タイプの大学は空欄のまま提出してください。		

【上記の表 (vi) の補足説明や今後の展望】

(vii) 任意指標 (タイプA②・B②のみ)

(vi) 任意指標【計画】 ※タイプA②・B②のみ

(設定指標)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
(指標1)						0
(指標2)						0
(指標3)						0
(指標4)						0
(指標5)						0

※該当しない申請タイプの大学は空欄のまま提出してください。

【計画内容】

(vi) 任意指標【実績】 ※タイプA②・B②のみ

(設定指標)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
(指標1)						0
(指標2)						0
(指標3)						0
(指標4)						0
(指標5)						0

※該当しない申請タイプの大学は空欄のまま提出してください。

【上記の表 (vii) の補足説明や今後の展望】

※派遣欄には派遣する日本人学生が取得した単位の互換を実施する海外相手大学数を、受入欄には受け入れる外国人学生が日本で取得した単位の互換を実施する海外相手大学数を記載。(ii)の各表の内容と齟齬のないように留意すること。

(viii) 本事業で計画している海外相手大学との単位互換の目標と実績

本事業で計画している海外相手大学との単位互換の目標

(1) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】

単位互換を実施する海外相手大学数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
計画調書に記載した数値を記入してください。										

(2) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】

学生別	A	学部生
	B	大学院生

【派遣する日本人学生が取得する単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名： 大学】

相手大学名		学生別	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
			●●大学	認定者数	A		
	認定単位数	A					
□□大学	認定者数	B					
	認定単位数	B					
▲▲大学	認定者数	A					
	認定単位数	A					
年度別認定者数合計			0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計			0	0	0	0	0

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		学生別	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
				認定者数			
	認定単位数						
	認定者数						
	認定単位数						
	認定者数						
	認定単位数						
年度別認定者数合計			0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計			0	0	0	0	0

本事業で実施した海外相手大学との単位互換の実績

(1) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】

単位互換を実施した海外相手大学数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
濃いグレーの網掛け部分には記入しないでください。										

(2) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】

学生別	A	学部生
	B	大学院生

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名： 大学】

相手大学名		学生別	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
			●●大学	認定者数			
	認定単位数						
□□大学	認定者数						
	認定単位数						
▲▲大学	認定者数						
	認定単位数						
年度別認定者数合計			0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計			0	0	0	0	0

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		学生別	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
				認定者数			
	認定単位数						
	認定者数						
	認定単位数						
	認定者数						
	認定単位数						
年度別認定者数合計			0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計			0	0	0	0	0

その他（上記⑦～⑩に該当するもの以外）

●本来実渡航で行うべきところ、新型コロナウイルス感染症の影響を受けてオンラインで実施した国際教育・交流プログラム

開催年月	プログラム名称	参加者数	備考（プログラム内容が分かる URL 等）

補助期間における各経費の実績【年度ごとに1ページ】

(単位:千円)

計画調書に記載した年度ごとの各経費の明細について、2022年度までの実績報告書に基づき記載。
【年度ごとに1ページ】

＜2021年度＞	経費区分	補助金額 (a)	大学負担額 (b)	支出実績 (a+b)	備考
	[物品費]	5,255	0	5,255	
	①設備備品費				
	・〇〇システム一式	2,455	0	2,455	
	・視聴覚装置一式	2,800	0	2,800	
	・			0	
	②消耗品費				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	[人件費・謝金]	0	0	0	
	①人件費				
	・雇用等経費 (特任教授)			0	
	・雇用等経費 (〇〇用事務補佐員)			0	
	・			0	
	②謝金				
	・謝金 (〇〇フォーラム講師謝金)			0	
	・			0	
	・			0	
	[旅費]	0	0	0	
	・国内旅費 (〇〇会議、実地調査)			0	
	・外国旅費 (〇〇調査)			0	
	・外国人招へい等旅費 (〇〇指導)			0	
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	[その他]	11,015	0	11,015	
	①外注費				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	②印刷製本費				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	③会議費				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	④通信運搬費				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	⑤光熱水料				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	⑥その他(諸経費)				
	・返納	8,015		8,015	
	・繰越	3,000		3,000	
	・			0	
2021年度	合計	16,270	0	16,270	

「補助金額 (a)」欄には補助事業に要した補助対象経費の額を、「大学負担額 (b)」欄には、自己資金その他の金額を記入してください。
2021年度分は確定済みの額を記入し、2022年度分は文部科学省に提出した実績報告書の額と一致するように記入してください。
(ただし千円単位で記入し、合計が一致するように端数調整をしてください。)

「補助金額 (a)」及び「大学負担額 (b)」を記入すると、「支出実績 (a + b)」、各項目の合計額及び該当年度の合計額が自動的に計算されます。
各費目の内訳については、内容がある程度分かるように記入してください。
なお、「大学負担 (b)」記載以外に、国立大学法人及び公立大学法人における「運営費交付金」等で自己負担額がある場合、備考欄に具体的な金額等を補足することは可能です。

利息がある場合は「[その他] ⑥ その他 (諸経費)」の「備考」欄に実際の利息額を円単位で記入してください。

返納や繰越がある場合は、「[その他] ⑥その他 (諸経費)」欄に記入してください。

利息174円

「代表大学名」及び「タイプ」を記入してください。
代表大学名: (タイプ:)

(前ページの続き)

(単位:千円)

<2022年度> 経費区分		補助金額 (a)	大学負担額 (b)	支出実績 (a+b)	備考
[物品費]		0	0	0	
①設備備品費					
・				0	
・				0	
・				0	
②消耗品費					
・				0	
・				0	
・				0	
[人件費・謝金]		0	0	0	
①人件費					
・				0	
・				0	
・				0	
②謝金					
・				0	
・				0	
・				0	
[旅費]		0	0	0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
[その他]		0	0	0	
①外注費					
・				0	
・				0	
・				0	
②印刷製本費					
・				0	
・				0	
・				0	
③会議費					
・				0	
・				0	
・				0	
④通信運搬費					
・				0	
・				0	
・				0	
⑤光熱水料					
・				0	
・				0	
・				0	
⑥その他(諸経費)					
・				0	
・				0	
・				0	
2022年度	合計	0	0	0	

(代表大学名:)(タイプ:)